

気になる商品

本誌の商品情報パドックに掲載された商品を実際に使用するユーザーはそれをどう見ているのか。ここで得られたコメントから気になる商品の価値を探る。

買う?買わない?

爪モノ作業機

⑦...ユーザー

※00の数字は資料請求番号です

「2本爪のブラソイラを4年前に導入した。サブソイラやプラウを使わずに何十年もやってきた関係があるかもしれないが、排水性と作物の根張りの向上にはびっくりしている。また、深耕によって作土が増したことが作物にいい影響を与えたようだ。事実、ラッキョウなどの畑作物は1〜2割増収し、水稲も健全に育って倒伏することがなくなった。もう少し軽量だったらなと思うところはあるが、頑丈だし、とくにデメリットも感じていない」

④7 スガノ「ブラソイラ」
ユ 前野善弘（鹿児島県南さつま市／水稲、ラッキョウなど2ha）

今月のテーマは、サブソイラのよいうな形状をしながら平面的なチゼルをもつ耕起作業機。通称がないので、ひとまず「爪モノ作業機」とさせていただく。サブソイラとプラウ双方の機能を半ば兼ね備えるといっても過言ではないこの機械に対し、ユーザーからは「増収の要因作りの軸がプラウから変わるのではないか」といった声が聞かれる。こうしたコメントをご覧いただきながら、ご紹介する3社の商品を比較していただきたい。

（永井佳史）

④ 高松求（茨城県牛久市／水稲、落花生など延べ4ha）

「2連のブラソイラを5年ほど前に導入した。率直に、馬力を食わないで、今までいじることのできなかった心土を部分的に天地返しできる点が何とも魅力的だと感じている。ただし、この働きによって土壌の内部で土壌水分や肥料、微生物などがどう反応しているかについては裏付けとなるデータを技術を開発したメーカーとして示して欲しい。データを取らないまでもいい具合だとは思いますが、実際の程度なのかを知りたい。これをもとに経営的な利害を検討できればと考えているので、スガノにはぜひデータの収集とその公表に努めてもらいたい。なお、使い勝手は非常にいい。安全ピンがうまく切れるため、チゼルが深く入ったとしても障害が少なく、けん引するトラクタへの負荷もなく、運転する者にとっては安心していろいろな条件のところで使える。また、キャスタスタンドが標準装備となっているため、装着や移動もすごく楽。このあたりの配慮もユーザーとしてはありがたい。ちなみに、増収の要因作りの軸がプラウからブラソイラに変わるのではないかと期待を寄せている」

④8 ドンディ「ソイルミックス」
ユ 田代義紀（北海道富良野市／タマネギ、ニンジンなど12ha）

「3m幅の9本爪のものを昨年導入した。それまではサブソイラやスプリングハローを使っていたが、粘土質土壌ということもあってか、耕盤層が破れなかった。そこで、ニューホランドから話を聞いて、ドンディのソイルミックスをデモで使ってみたところ、調子が良かったので導入を決めた。作業体系としては、秋に堆肥や緑肥を入れてプラウですき込んだ後、雪解けを待ってサブソイラ、ソイルミックス、ロータリと組み合わせるのが基本となる。ソイルミックスを加えたことによってロータリをかける回数が1〜2回減り、作業時間も大幅に短縮した。また、ロータリ耕盤もなくなった。一方、秋播き小麦の圃場ではプラウをかけずにこれだけで作業した圃場もあった。作業が密集するこの時期にすぐに播種へと移れたのは非常に大きかった。これまでチゼルの機械をいろいろ使ってきたが、これが一番いいのかなという実感がある」

④ 匿名希望（北海道上富良野町／小麦、ビートなど25ha）

「2・5m幅の7本爪を一昨年導入した。その際、オプションの「ウイ

47 スガノ「プラソイラ」

2000.1 (No.48) 88頁掲載

■MPS2

■ナイフ数：2、作業深度：30～45cm、適用馬力：20～30PS

■希望小売価格：237,300円
(消費税込み)

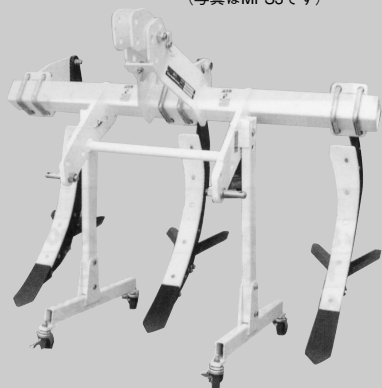
■スガノ農機株式会社

■〒300-0405

茨城県稲敷郡美浦村間野字天神台300

☎029-886-0031

http://www.sugano-net.co.jp/
(写真はMPS3です)



48 ドンディ「ソイルミックス」

2003.3 (No.90) 78頁掲載

■RP7L

■ナイフ数：7、作業深度：40cm、適用馬力：80～100PS

■希望小売価格：783,850円
(消費税込み)

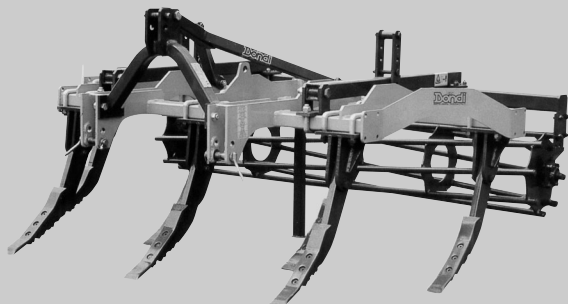
■日本ニューホランド株式会社

■〒060-0001

北海道札幌市中央区北1条西13-4

☎011-221-2130

http://www.nh-hft.co.jp/



49 ニプロ「ソイルリフター」

■SPM2

■ナイフ数：2、作業深度：30～50cm、適用馬力：30～60PS

■希望小売価格：283,500円
(消費税込み)

■松山株式会社

■〒386-0497

長野県小県郡丸子町塩川15155

☎0268-42-7500

http://www.niplo.co.jp/



「ソイルリフター」という機体の横に広がるV字型の羽根を取り付けた。これは全層耕起を狙ったもので、反転こそしないものの、プラウをかけたように土壌を全体的にふかふかにすることが出来る。主に秋播き小麦の際にプラウ代わりの『サブソイラ兼プラウ』として使っている。昨年はジャガイモを収穫した後、これを使ってすぐに小麦を播種した。導入にあたっては、他社の商品も検討したが、安全ピンがチゼルに対して縦に付いていて切れづらいという点でドンディのものを選択した。他社のは横に付いていて、粘土質土壌の条件下では切れやすいと周囲から聞いていた背景もある。なお、プラウをかけず

本誌未掲載の商品

49 ニプロ「ソイルリフター」

■濱崎康生（福岡県久留米市／小麦、水稲など3・4ha）

「4年前に2本爪のソイルリフターを導入した。チゼルの部分に付いているボードを外し、サブソイラとして小麦の播種前に排水性の向上を狙って使うことが多い。以前、使っていた振動型サブソイラに比べ、土壌

を幅広く切っていくので効果が上がったと感じている。畑の乾き具合を見れば違いは明らかだ。また、チゼルはほとんど消耗せず、耐久性にも富んでいる。着脱もしやすく、使い勝手もいいので満足している」

■匿名希望（埼玉県本庄市／ネギ、ブロッコリーなど／面積は本人の意思により非公表）

「2本爪のソイルリフターを昨年導入した。本庄のあたりは野菜の産地でもあるので、いろいろな情報を聞いたうえで同機を選んだ。例年、背丈10cmほどのネギの苗をチェーンポットで定植していくが、大雨に降られるとやられることがあった。昨年



部分的な天地返しによる土壌の活性化、耕盤層の破碎による排水性の向上など、さまざまな効果が期待できる

は雨に悩まされることはなかったが、3月にこれを使ったところ、水はけはいいし、部分的に天地返しもするし、さまざまな効果が認められた気がした。耕盤層の破碎にも役立ったと感じている」